



【発行】ちはら台地区社会福祉協議会 〒290-0142 市原市ちはら台南6-1-4 電話(Fax)0436-37-1326

【令和6年度ちはら台地区社会福祉協議会の活動(イベント特集)】

常日頃「ちはら台地区社会福祉協議会」(以下地区社協)の活動にご理解、ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

地区社協では、「地域共生社会」の推進・「地域福祉力」の向上を目指して活動しています。今回は今年度開催しましたイベントを紹介させていただきます。今後とも地区社協活動のご支援をよろしくお願いいたします。

【夏の演奏会】

7月27日(土)ちはら台コミュニティセンターで、「チャーリーウクレレクラブ オルオル」を招き、ウクレレ演奏会を開催しました。

「アロハオエ」「カイマナヒラ」のハワイアンや「恋の季節」「ダンシングヒーロー」の懐かしい日本の曲等も演奏いただきました。フラダンスの披露もあり、来場いただいた皆様からは『良い曲を聴いた』『楽しかった』等多くのお言葉をいただきました。ご出演いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



【福祉バザー】



11月3日(土)、ちはら台コミュニティセンター文化祭において福祉バザーを開催しました。これは毎年、共同募金会の「歳末たすけあい運動」への協力として、住民の皆様からご寄付をいただいた物品等により運営されています。その収益金については、地域で生活する誰もが、安心してあたたかいお正月を迎えられるように使用されています。前日の雨も上がり、快晴の元、屋外テントにて多くの方々にご来場いただきました。皆様のご協力に感謝します。

【制服リユース】

地域住民がお互いさまの精神、又、SDGsの意識で参加・協力できる地域福祉活動として、青少年育成ちはら台地区民会議、ちはら台南中学校、清水谷小学校、地区小・中学校PTA等多くの団体のご協力を得て『制服リユース』事業を初めて実施しました。開始時間の前から多くの方々においでいただき、準備した制服もまたたくまに無くなりました。尚、来年度の『制服リユース』事業開催については、関係団体とも調整して検討していく予定としております。



【福祉のつどい】

11月17日（日）、ちはら台コミュニティセンターで『地域で安心して、自分らしくともに生きよう』のキャッチフレーズでちはら台福祉のつどいを開催しました。

第一部：小澤綾子さんのライブ&トーク

袖ケ浦市在住の小澤さんは東京パラリンピックの閉会式でもパフォーマンスを行ったアーティストです。進行性の筋ジストロフィー症を発症されましたが、「元気でいられるなら、今を全力で楽しく生きていこう！」と決め、イベント、学校等で、講演ライブを行い、生きることの大切さを伝えられています。オリジナルの「希望の虹」をはじめ「上を向いて歩こう」「アンパンマンの

マーチ」等 夢をあきらめない、生きていくというメッセージを込めて明るく、力強い声で唄っていただきました。

来場された皆様は

歌とトークに大変感激され、来てよかったと話されていました。



第二部：講演「地域の健康状況とフレイル予防について」

講師：市原市保健センター 近藤 真緒さん 松江 愛さん

新しい言葉「フレイル」とは健康な状態と要介護状態の中間の状態であり、加齢による予備能力の低下により身体的・精神的な弱さが現れた状態の総称です。市原市の患者数トップは「高血圧症」ですが、ちはら台地区では他地区に比べると「糖尿病」「脂肪肝」が多いとのことでした。ちはら台地区には多くの公園、かずさの道があり、体を動かすことには大変良い環境ですので、健康維持に努めましょうとアドバイスをいただきました。最後にフレイル予防として、みんなで「パタカラ体操」を行いました。パタカラ体操とは、誤嚥を防ぐための代表的な訓練方法の一つで、口・舌を鍛えることで食べる・飲み込む機能の向上を目的としています。皆様も一緒にいかがでしょうか！



【各部会の紹介】

地区社協では「直接支援部会」「見守り支援部会」「児童支援部会」「高齢者支援部会」「障がい者支援部会」「小域福祉ネット部会」「総務部会」の7部会で活動しており、パネルにて活動紹介を実施しました。

『広報ちはら台』にも毎月の行事内容を載せていますので、ご参加の程、よろしくお願いいたします。また、一緒に活動していく新しい仲間の募集しております。

地区社協事務所へお気軽にお声がけください。

